

【福祉・健康：自立のための健康づくりと福祉の充実をめざして】

基本施策

①市民のニーズに応える福祉環境の整備と福祉サービスの充実を図ります

現状と課題

年々高齢化が進行し、高齢者のみの世帯も増加しているため、高齢者世帯の見守りや、出かけることが困難になっている現状に配慮して地域の巡回に力を入れる必要があります。また、加齢に伴い認知症の発症が増加しがちな状況も考慮して、認知症サポーター養成講座の充実を目指します。

ライフスタイルの多様化に応じ、子育て世帯でも親が仕事に就けるよう社会福祉施設や教育・保育施設での受け入れを充実させていきます。また、放課後児童の小学校全学年の受け入れを目指します。

施策の内容と行動計画

ア. 市民のニーズの把握と速やかに対応するためのシステムを整えます

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	地区巡回による福祉・保健講座の実施	地域包括支援センター 健康推進課 社会福祉課	継続	
	認知症サポーター養成講座の実施	地域包括支援センター 健康推進課 社会福祉課 高齢ふれあい課	継続	
	民生児童委員、福祉協力員との地域連携の推進	地域包括支援センター 健康推進課 社会福祉課 高齢ふれあい課	継続	

イ. 多様なライフスタイルに対応した、利用しやすい福祉サービスの充実に努めます

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	社会福祉施設、教育・保育施設の整備と施設サービスの充実	地域包括支援センター 健康推進課 社会福祉課 高齢ふれあい課 子育て支援課	継続	
*	一時、休日、病児、障がい児、延長保育などの特別保育事業の充実	子育て支援課	継続	
*	学童保育の全学年児童の受け入れを目指す	子育て支援課	継続	
	障がい者及び高齢者支援に係る関係機関・職種と研修会・講座・連絡会議の開催	地域包括支援センター 健康推進課 社会福祉課 高齢ふれあい課	継続	
*	公園などの遊具の点検と整備	子育て支援課	継続	

男 女 共 同 参 画 指 標	担当部署	現状値 (26年度)	目標値 (32年度)	女性 活躍
認知症サポーター数	地域包括支援センター 高齢ふれあい課	6,000人	10,200人	
病児保育実施ヶ所数	子育て支援課	12ヶ所	12ヶ所	

基本施策

②健康と福祉の情報提供に努め市民の意識を醸成します

現状と課題

市報、ネットワークなどを活用した情報提供は充実し、スムーズになってきています。健康と福祉の情報は内容により必要とする年代が様々ですので、真に情報を必要とする人が受け取れるように提供する媒体を考慮するとともに、地域に出向いての講座開催なども実施します。

ボランティアについての意識を醸成するため、学校や職場等への介護体験機会の提供に努めます。

施策の内容と行動計画

ア. 誰にでも分かりやすい情報の提供と伝達の方法を構築します

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	市報、ホームページ、冊子等による利用者を考慮した情報提供の徹底	地域包括支援センター 健康推進課 社会福祉課 高齢ふれあい課 子育て支援課	継続	
	公共施設等身近な場所での福祉関連講座の実施	地域包括支援センター 健康推進課 社会福祉課 高齢ふれあい課 子育て支援課	継続	

イ. ボランティア意識を啓発し、市民の福祉の心を育てます

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	学校や職場等への介護体験機会の提供	地域包括支援センター 高齢ふれあい課	継続	

基本施策

③生涯にわたる健康の保持増進を積極的に進めます

現状と課題

健康についての正しい知識の習得と、生活習慣を見直すことが心身の健康づくりにつながります。健（検）診の受診率の向上を目指すとともに健康についての学習機会の提供などを行っています。

引き続き幼児期から健康についての学習機会を提供し、また、学童期からは運動についての講座を開催しながら、健康の駅等の活用による運動の機会の提供も行います。

子育て世帯では子どもとその親の心身の健康を保つことができるよう、健康教育や相談しやすい体制づくりに努めます。

施策の内容と行動計画

ア. 心身ともに主体的な健康管理を実践できる体制を整えます

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	5歳児健康相談を全地域で実施	健康推進課	継続	
	生活習慣病の予防や健康増進のための学習機会の提供	健康推進課	継続	
	学校体育館、スポーツ施設等を利用した教室、講座の開催	スポーツ振興課	継続	
	健康の駅の活用により、運動習慣のある人口割合の増加	健康推進課	継続	

イ. 幼児期から健康に対する意識を育てます

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	健康診査などの機会に健康教育を実施	健康推進課	継続	
	子育て世帯に対して妊娠期、出産期、育児期まで切れ目のない学習機会や相談体制の提供	健康推進課 子育て支援課	継続	
	思春期健康教育の充実	健康推進課 教育指導課	継続	

男 女 共 同 参 画 指 標	担当部署	現状値 (26年度)	目標値 (32年度)	女性 活躍
健康教育（成人・老人）	健康推進課	970回	1,000回	
健康教育（栄養・健康増進）	健康推進課	927回	1,000回	
健康教育（児童・生徒）	健康推進課 学校教育課	市立全 小中学校	市立全 小中学校	
小児生活習慣病予防健診	健康推進課 学校教育課	市立全 小中学校	市立全 小中学校	
喫煙防止教育	健康推進課 学校教育課 教育指導課	市立全 小中学校	市立全 小中学校	
地域密着型健康の駅（小規模駅）	健康推進課	61ヶ所	70ヶ所	

基本施策

④配偶者等に対するあらゆる暴力の根絶に向けた対策を強化します

現状と課題

家族構成の変化や SNS^{*}の普及などにより、以前より暴力が起きやすい環境にあると言われています。一方で人権問題等が注目を浴びているため、DV^{*}、虐待などについての関心は高まってきています。

暴力は心身に重大な傷を残すもので、許されるものではありません。被害にあった方の相談に対応できるよう連携を強化し、キャンペーンなどの啓発活動を行っていきます。暴力の低年齢化による、中高生のデート DV^{*}に関しても予防セミナーを実施します。

施策の内容と行動計画

ア．広報啓発と相談窓口の充実を図ります

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	広報活動と相談窓口の周知	地域づくり支援課	継続	
	DV防止キャンペーンの実施	地域づくり支援課	継続	○

イ．DVの防止と被害者支援体制の充実を図ります

行 動 計 画		担当部署	新規 継続	女性 活躍
	関係者の知識向上のためのDV対策担当者会議の開催	地域づくり支援課	継続	
	関係機関と連携強化を図り支援体制を整備	地域づくり支援課	継続	○
	中高校生に対するデートDV予防セミナーの実施	地域づくり支援課 教育指導課	継続	